

表千家石川県青年部会報

令和七年三月 発行 第十六号

部長挨拶

宇野太祐



平素は青年部活動に多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和六年十月六日に、表千家同門会石川県支部設立六十周年・青年部設立十五周年を記念する尾山神社献茶祭、記念式典、祝賀会、茶会が開催されました。そこで、青年部は茶会薄茶席を金沢市立中村記念美術館旧中村邸にて担当させていただきました。青年部席では特別参与の先生のご指導のもと、私が席主を務めさせていただきました。青年部員の皆様、親先生方、同門会会員の皆様方におかれましては、準備期間から当日までも多大なお力添えいただき、大変感謝しております。誠にありがとうございました。おかげさまで無事に青年部席を務めることができました。当日は、京都から猶有齋宗匠御一行、ご来賓の皆様をお迎えし、薄茶席にもお運び頂きましたこと、大変名誉なことでもございました。皆様のご協力により、当日は多くのお客様におもてなしの心で一服を差し上げることができ、大変嬉しく思っております。

最後になりますが、次の二十年、三十年と青年部活動が続けて行くために、これからも皆様のお力添えが不可欠となります。今後とも石川県青年部に對して、ご指導ご鞭撻いただければ幸いに存じます。



行事報告（記念茶会）

（青年部席）（薄茶席）

於 旧中村邸二階
席主 石川県青年部

本席

掛物

齊藤公筆画賛

我有卦に入り 翌年は本卦なり

卦は慶びの卦にて 御慶めでたし

還暦諺に 三十九を 花と言う

明けてまたあふ 華年の春

花入

越中管笠 山中製内塗

花入

季ノモノ

違棚二

ひやくまんさん

書院二

山中製日月波硯箱 而妙斎在判 而妙斎箱書付 春斎作

釜

越前和紙製料紙敷キテ

風炉

星見草

加賀水引細工腰風炉先屏風

而妙斎箱書付

山中製イジ塗長板

一双ノ内 而妙斎在判 同箱書付 雅峰作

水指

九谷焼 祥瑞寫 鍋 猶有斎在判 同箱書付

杓立

蕉灰箱

火箸

加賀象嵌

建水

唐銅環珞紋

蓋置

萩焼 六角青海波

茶器

滴独楽ツナギマキ工中興

茶碗

即中斎手造 黒 銘小槌 即中斎 而妙斎箱書付

替

竹ノ画

茶杓

即中斎作共筒 銘若松 同箱書付

菓子器

へぎ目溜 而妙斎在判 同箱書付

菓子

ヒメダルマ煎餅

御茶

猶有斎好大雄の白

茶盆

青漆爪紅糸巻透シ

火入

九谷焼 廣葉虎ノ画

煙管

豊紙

吐月奉

如心斎好 筋

替

竹ノ画

茶杓

即中斎作共筒 銘若松 同箱書付

菓子器

へぎ目溜 而妙斎在判 同箱書付

菓子

ヒメダルマ煎餅

御茶

猶有斎好大雄の白

茶盆

青漆爪紅糸巻透シ

火入

九谷焼 廣葉虎ノ画

煙管

豊紙

吐月奉

如心斎好 筋

表千家同門会石川県支部設立60周年 表千家石川県青年部設立15周年記念茶会

記念大会・尾山神社献茶式

とき

令和6年10月6日

ところ

旧中村邸2階

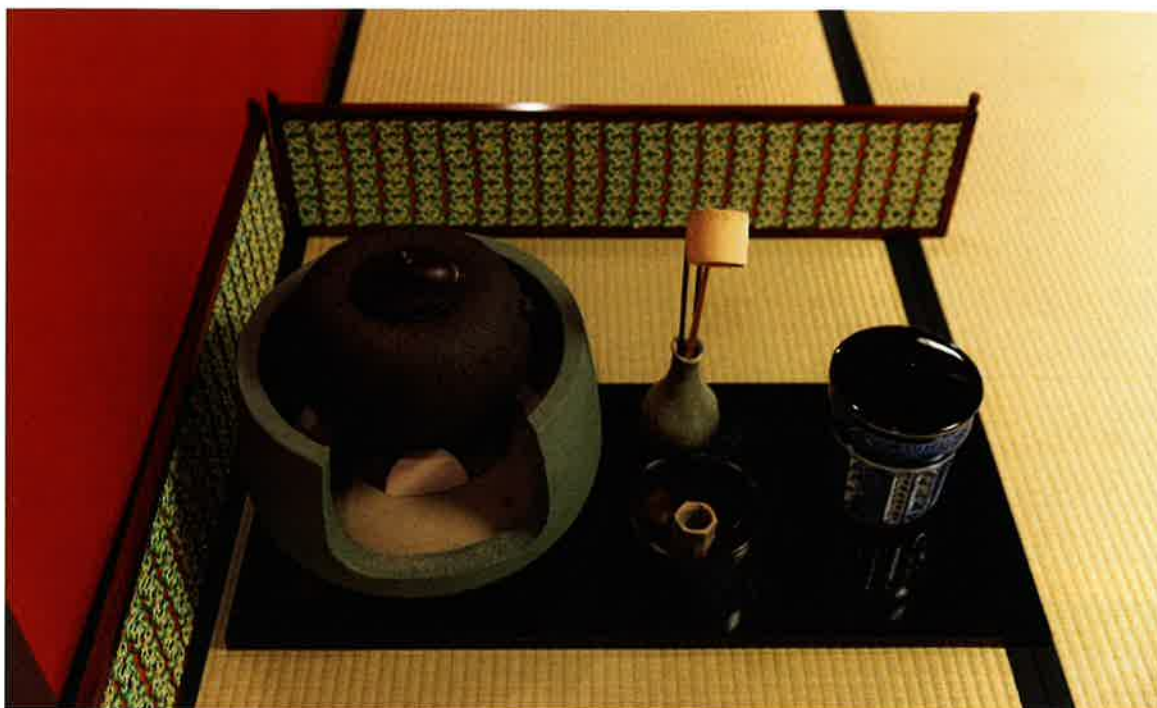


【初めて半東を務めて】

京都からお家元宗匠と先生方、そして富山県、福井県から来賓の方々もご参加され、大変光栄に思うと同時に、身の引き締まる思いで当日に臨みました。このような場で半東として務める責任は大きく、緊張もありました。また、いざ本番になると慌ててしまう場面も多々あり、自分の未熟さを痛感しました。それでも、周囲の温かいサポートのおかげで、無事に役目を果たすことができたことを嬉しく思っています。

半東を務めるにあたって、単に作法を守るだけでなく、場全体の流れを意識することの大切さを学びました。青年部の一員としてこの大切な茶会に携われたことは、今後の私にとっても貴重な経験になると感じています。まだまだ至らない点も多くありますが、この経験を糧に、今後も精進していきたいと思います。青年部席をバックアップしてくださった特別参与の先生を始め、支部の方々、お手伝いをしてくださった青年部の方々、お茶会に来てくださった方々に心から感謝申し上げます。

森田 亮



【周年記念事業を通して】

ご縁をいただき、周年行事では役割をあたわれました。ひとつひとつ改めて見つめ、今鮮やかに思い返されるのは、一瞬一瞬の皆さんの表情であったように 思います。喜怒哀楽のどの表情も浮かぶ程、それぞれに向き合い臨んだ時間でありました。中でも、青年部席担当の皆さんの会後の表情には、ずっと惹かれる美しさを感じられました。この日に寄せられた想いの深さ、それ故の時と行動の重なりが、各自の実感となって表情にこぼれ、目を離すことができませんでした。一方、年明け家元初釜へ伺い、思いがけず周年行事の背景を伺うこと となりました。

力みなく鎮まって感じられた神前でのお家元宗匠のお点前が、どのようなご事情のもとに現実となっていたかを伺い知り、深く感じ入りました。

主客の一部として携わることが叶い、言葉を介さず伝わりくるものに触れる機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

宮崎 望



【周年記念事業を経験して】

表千家同門会石川県支部設立60周年・青年部設立15周年記念事業開催にあたり、当日は青年部担当の薄茶席にてお手伝いをさせていただきました。お家元をお招きしての大規模な行事のお手伝いということで大変緊張しておりましたが、特別参与の先生を始め諸先輩方のご指導のもと得難い経験をさせていただきました。ありがとうございました。

また、サテライト席のモニター越しにはありますが初めて献炭・献茶を拝見しました。厳かな雰囲気の中設えられた梅鉢のお道具とお家元のお姿が秋晴れの空と緑に大変美しく、印象深く残っています。今回は大きな節目の行事でしたが、今後も大小の区別なく日々の節目を大切にしたいと改めて感じる機会となりました。

小島 美里



【60周年記念のお茶席を手伝って】

私自身が小さい頃から旧中村邸での茶会の手伝いをしてきたことや、21歳のときに青年部が発会し一会員として手伝わせていただいたことを思い出した。茶席をもつことは楽しく、学ぶことも多い。日々のお稽古、お茶の実践、軸をかけて花を生けお茶を点てることが実際にできているか、これに尽きるといった。亭主と客の真剣なやりとりの中に、互いに喜びを見出すことの大切さを再確認した一日であった。

江尻 祐治

【青年部15周年記念事業に際して】

この度の青年部15周年記念事業に際しまして、多くの先生、役員、関係各位の方々の皆様へ感謝申し上げます。石川県全国大会が私の青年部入部前ということもあり、お家元宗匠方々を目の前で拝見すること、ましてやお茶を差し上げるという経験は初めてで、その日が来るまで本当に緊張していました。ですが、献茶を捧げる宗匠のお姿を見て、すごく感銘を受けたとともに余計な力が抜けた感覚がして、いざ宗匠の前に出た際はすごく自然体な形でお席に入れたような気が致しました。このような貴重な体験を勉強させて頂きましたことを深く感謝し、今後のお稽古や生活に生かしていきたいと思っております。この度は本当に有難うございました。

北村 絵梨



御家元をはじめ、ご来賓の方々にご臨席賜り、茶会後には金沢ニューグランドホテルにて記念式典・祝賀会が行われました。ありがとうございました。

今年度を振り返って 副部長 森田 亮

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

去る十月五日、表千家同門会石川県支部設立六十周年ならびに表千家石川県青年部設立十五周年を記念する茶会を、無事に開催することができました。これもひとえに、同門会の先生方をはじめ、日頃よりご指導・ご支援を賜っている皆様のお力添えの賜物と存じ、心より感謝申し上げます。

当日は、多くの皆様にご来場いただき、先輩方が築いてこられた歩みを振り返りながら、茶道の魅力と伝統を改めて実感する、意義深いひとときを過ごすことができました。私たち青年部にとっても、歴史を受け継ぎ、未来へとつなげていく大切な節目となりました。

また、日々のお稽古や記念茶会、献茶式への参加を通じて、部員一人ひとりが研鑽を積み、多くの方々との交流を深め、茶の湯の心を共有できた一年であったと感じております。この一年の経験を糧に、これからも青年部一同、より一層の精進を重ね、茶道の道を歩んでまいりたいと存じます。

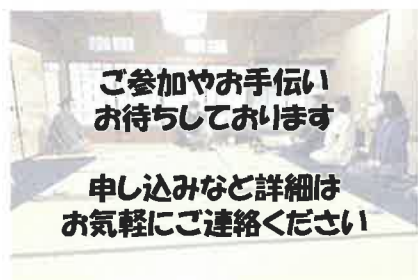
未熟な私たちではございますが、皆様のご指導とご支援を励みに、今後とも茶の湯の心を大切にしなが、学びを重ねてまいります。何卒、変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

青年部行事

「青年部茶会」

12回

日時 令和7年11月22日(土)
9時～13時半(受付終了13時)
会場 未定



青年部行事

「茶席のアレコレ講座 その2」

日時 令和7年3月30日(日)
場所 女性センター
講師 土屋 兵衛 氏
青年部元部長
料亭 金城樓 代表取締役社長
内容 茶懷石について

応募申込は3/15必着

青年部入会のご案内



私たちと一緒に、表千家石川県青年部で、活動しませんか。

入会資格は、満18歳～45歳の表千家不審菴入門者（又は入門予定者）の方で、先生の推薦が必要です。ご関心を持たれた方は、青年部までお問い合わせください。下記のE-mail（QRコードも可）またはお電話にて「青年部入会希望」の旨、お知らせ頂ければ、入部届の様式をお送りいたします。

まずは、お気軽にお問い合わせください。

茶の湯を通して人と人との輪をひろげ、茶の湯の楽しみを分かち合いましょう。

青年部会報第16号

令和7年3月発行

表千家石川県青年部

〒 920-0909
金沢市袋町4番21号
オウル武蔵301号室

表千家同門会石川県支部内

電話 070-2902-2326

●登録変更について

住所氏名に変更のある方、都合により青年部を退会される方、その他登録変更がある方は、お手数ですが、青年部の左記連絡先まで内容を明記してお知らせください。
なお、同門会会員の方は、別途本部への申請も必要となります。

ishikawa.omotesenke.seinenbu@gmail.com

